



「鉛筆」や「消せるボールペン」等の消すことができる筆記具によって記入された書類
「修正液」や「修正テープ」によって修正された書類

受付
できません

免許法附則18項(幼稚園教諭免許状取得の特例)の記入例
【幼保連携型認定こども園の場合】

実務成績証明書

本籍	鹿児島 都道府県		現住所	鹿児島県鹿児島市鳴池新町10-1	
現職名	保育教諭		氏名	桜島 花子	
年月日	就職転勤 休・退職	勤務	職務内容	休・退職, 兵役の期間及びその理由	
平成19年4月1日 実労働時間 6,500時間	就職	〇〇保育園 鹿児島市〇〇町1234 TEL 099-286-XXXX	保育士	産前産後休暇 平成19年8月15日～ 平成19年11月1日	
平成27年4月1日 実労働時間 1,200時間	幼保連携型認定 こども園に移行	〇〇こども園 鹿児島市〇〇町1234 TEL 099-286-XXXX	保育教諭	育児休業 平成19年11月2日～ 平成20年2月27日	
<p>※ 保育士と保育教諭の実労働時間は別々に記入すること。</p>		<p>必ず勤務の期間と、実労働時間を記入すること。 ※ 休職期間については実労働期間から除くこと。</p>		<p>勤務した施設名, 施設の住所, 電話番号を記入すること。</p> <p>保育士, 保育教諭等の職務内容を記入すること。</p> <p>産前産後休暇, 育児休業等の休職期間がある場合は、この欄に記入すること。 ※ ここに記載された期間は在職年数に含まれません。</p> <p>※ または 休職等該当事項なし</p> <p>該当する事項がない場合は「休職等該当事項なし」と記入すること。</p>	
<p>複数の施設における勤務時間等を合算する場合は、それぞれの施設ごとに実務成績証明書を作成すること。</p>					
勤務状況	<p>良好 教員として良好な成績で勤務したことがわかる内容を記入すること。</p>				
<p>上記のとおり副申する。</p> <p>令和〇年 3月 31日 社会福祉法人〇〇会 〇〇こども園長 〇〇 〇〇</p> <p>所属長</p>					
<p>上記のとおり証明する。</p> <p>令和〇年 3月 31日 社会福祉法人〇〇会 〇〇 〇〇</p> <p>所轄庁 理事長</p>					

- 1 就職から現在までについて順
- 2 勤務状況の欄は事実上継続し
- 3 免許法附則第18項(幼稚園教諭の特例)申請の場合は、年月日順に勤務時間及び実勤務時間を記載し、勤務先欄には、施設名, 所在地及び電話番号を記載すること。
なお、複数の施設における勤務時間等を合算する場合は、それぞれの施設ごとに実務成績証明書を作成すること。

勤務した施設の設置者の証明

18項により申請する者は除く。) 校務分掌の状況, 学級担任の成績